

寄稿

市民派議会へ、大きく前進！

おだわらを拓く力 加藤 憲一

4月22日、小田原市議会議員選挙の投票が行われました。投票率が過去最低を更新して約49%に落ち込んだことは非常に残念ですが、この4年の間に市民が感じてきた「議会よ、しっかりしてくれ！」「市民の声を反映して！」との思いが、議会構成の大きな変化となつて表れました。

獲得。経歴や立場は様々ですが、市民の立場に立ち、市民の力で地域を創つてゆこうという主張は共通。ぜひ初心を貫き、市民の視点で市政の洗い直しを。

①新人5人の上位当選。総投票数の約2割を新人が

であったと見るべきでしょう。ぜひ、市民の立場に立ち返つての奮起を。

②現職議員の減票。前回より票を減らした方が16人、その減少総数は6千を越えます。引退議員の票の行方が注目されましたが、数字を見る限り現職に対する市民の厳しいメッセージ

③世代交代の進行。選挙前に4人のベテラン議員が引退、選挙にも2人が落選。6人のベテランが去ることで、議会の雰囲気は一変することでしょう。



かとうけんいち：1964年小田原生まれ。経営小田原高校、京都大学法学部卒。経営戦略コンサルティング会社、民間教育団体、農業、オービックビル事務局長などを経て、現在有限会社あしがら総研代表。妻と子ども二人の4人家族。

も見事にトップ当選。この2人は自他共に認める「誰よりも働く」人でした。横須賀市議選でも1位2位は30代前半の市民派現職で、活動実績はベテラン市議を圧倒していました。

小田原でも、新旧が入れ替わり、しかも市民の立場に立つ議員の勢力が増したことは、たいへん歓迎すべきことです。城下町ホールや駅前再開発、市立病院や財政再建など、課題山積の小田原。慣例や数の論理に囚われることなく、新たな顔ぶれで新鮮な議論が交さるよう、市民がしっかりと注視し、市民と共に汗を流す議員を支えましょう。6月議会はぜひ傍聴に！

おだわらを拓く力
 (加藤けんいち後援会)
 代表/飯田 和
 小田原市栄町2-13-1-2F
 TEL0465-21-5260
<http://www.katoken.info>
 加藤憲一日記 更新中!